

平成28年第2回白石町議会定例会会議録

会議月日 平成28年3月16日（第13日目）
場 所 白石町役場議場
開 会 午前9時30分

1. 出席議員は次のとおりである。

1番	川崎一平	10番	秀島和善
2番	前田弘次郎	11番	井崎好信
3番	溝口誠	12番	大串弘昭
4番	大串武次	13番	内野さよ子
5番	吉岡英允	14番	西山清則
6番	片渕彰	15番	岩永英毅
7番	草場祥則	16番	溝上良夫
8番	片渕栄二郎	17番	久原房義
9番	久原久男	18番	白武悟

2. 欠席議員は次のとおりである。

なし

3. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者は次のとおりである。

町長	田島健一	副町長	百武和義
教育長	北村喜久次	総務課長	本山隆也
企画財政課長	片渕克也	税務課長	吉原拓海
住民課長	渕上隆文	保健福祉課長	井崎直樹
長寿社会課長	片渕敏久	生活環境課長	門田藤信
水道課長	山口弘法	下水道課長	堤正久
産業課課長補佐	西山里美	6次産業専門監	矢川又弘
農村整備課長	大串靖弘	建設課長	荒木安雄
会計管理者	小池武敏	学校教育課長	小川豊年
生涯学習課長	松尾裕哉	農業委員会事務局長	一ノ瀬美佐子
農村整備専門監	喜多忠則		

4. 議会事務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

議会事務局長	吉岡正博
議事係長	久原雅紀
議事係書記	香月良郎

5. 会議録署名議員の指名 会議録署名議員に次の2人を指名した。

6. 本日の議事日程は次のとおりである。

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 議案第17号 白石町特定環境保全公共下水道条例の一部を改正する条例について
- 日程第3 議案第18号 白石町中小企業小口資金融資条例の一部を改正する条例について
- 日程第4 議案第26号 平成27年度白石町農業集落排水特別会計補正予算（第3号）
- 日程第5 議案第28号 平成27年度白石町水道事業会計補正予算（第3号）
- 日程第6 議案第29号 平成28年度白石町一般会計予算
（産業建設部門の質疑のみ）
- 日程第7 議案第32号 平成28年度白石町農業集落排水特別会計予算
- 日程第8 議案第33号 平成28年度白石町特定環境保全公共下水道特別会計予算
- 日程第9 議案第34号 平成28年度白石町水道事業会計予算

9 時30分 開議

○白武 悟議長

おはようございます。
これより本日の会議を開きます。

日程第1

○白武 悟議長

日程第1、会議録署名議員の指名をいたします。
会議規則第119条の規定により、本日の会議録署名議員として、片渕彰議員、草場祥則議員の両名を指名します。
本日の議事進行について申し上げます。
本日は建設産業部門の議案を審議します。
審議は、質疑、討論、採決の順で行います。なお、平成28年度一般会計予算は質疑のみにとどめ、最終日に討論、採決を行います。

日程第2

○白武 悟議長

日程第2、議案第17号「白石町特定環境保全公共下水道条例の一部を改正する条例について」を議題とします。
質疑ありませんか。

○秀島和善議員

提出していただいた新旧対照表で担当課長にお尋ねします。

新旧対照表では、除害施設の設置ということで、第7条3に前項の規定は公共下水道に排除する汚水の1日当たりの平均的な排出量が50立方メートル未満である場合には適用しないという条項ですけれども、この条項を適用するに当たっての背景、理由ですね。どうしてこのような条項が今回新たに設けられるようになったのかというのが第1点。

第2点目に、この条項にあるように50立方メートル未満である場合ということに該当する町内の箇所数、それに伴う影響額はどのように算出されているのかお尋ねいたします。

○堤 正久下水道課長

今回の条例の提案に対します背景、理由ということでございます。

実は、昨年末農業集落排水施設において高濃度の汚水が排出されております。排出先については排出先が特定されることもありますので、地区名及び排出先等の名称については差し控えさせていただきたいと思っておりますけれども、BODで3万を超える汚水が農業集落排水施設に流入をいたしまして、流入前までに透視度について1メートル以上の透視度ございましたが、その汚水が流入をされたことによって、透視度が20センチまでに下がったという事案が発生をいたしました。排出先等を調査をいたしまして、改善をお願いをまず1点をいたしたところでございます。

次に、再度現場を確認させていただいて、当該汚水については排出を停止をしていただくということで処置をして、約2週間ちょっとで農業集落排水施設のもとどおりとまではいきませんが、処理機能が回復をしたという事例がございました。問題だったのは、高濃度の汚水もそうですけれども、臭気が処理施設場内に蔓延したということで、維持管理業者等においても長時間の作業ができないというような事案が発生をいたしました。

それに伴い、農業集落排水施設の条例においては、処理施設の機能を維持できないという場合については改善策をすることができるという条文がございましたが、公共下水道のほうを見ましたところ、50トン未満については除害施設の適用除外ということで、公共下水道の処理施設にそのような汚水が流入した場合どうなるかということで、下水道事業団等のほうにも問い合わせをいたしましたところ、現状の流入水量300立方メートルが毎日流入しておりますけれども、どのように少量の汚水が流入しても処理機能に非常に悪影響を及ぼすことが懸念されるというようなことです。そういう回答を得ましたので、今回公共下水道事業において処理施設に影響を及ぼす汚水、少量といえども除害施設を設置をしていただくというようなことで、今回50立方未満の適用除外という条文を削除させていただいたという今回の提案の理由でございます。

それから、箇所数については、現在のところそういう公共下水道においてそういう箇所においてはあまりないということでございます。

それから、影響額でございますが、影響額については、そういう対象というのが現在のところ公共下水道の地域にはないということで、影響額についてはないというふうに思っております。ただし、今回の条例の中でその第1項にございますけれども、特

定施設、特定事業化については今後もその除害施設について設置を義務づけることについては何ら変わりはありませんので、影響額についてはないというふうに思っておるところでございます。

以上でございます。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これで質疑を終わります。

討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

討論なしと認めます。

これより議案第17号「白石町特定環境保全公共下水道条例の一部を改正する条例について」採決をします。

本案に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第17号は原案のとおり可決されました。

日程第3

○白武 悟議長

日程第3、議案第18号「白石町中小企業小口資金融資条例の一部を改正する条例について」を議題とします。

質疑ありませんか。

○前田弘次郎議員

この改正案のほうの中小企業信用保険法第2条第1項第6号に規定するものとありますけど、この規定するものという内容教えていただきたいと思えます。

○矢川又弘 6次産業専門監

該当する事業者と申しますのは、今回この条例改正をお願いするわけなんですけども、この改正のもとになりましたのは、中小企業と同様に事業を行っていただいております事業者で、地域経済や雇用を担います特定非営利活動法人の事業を円滑に調達していただくということが目的となりまして、その改正がなされております。町内にもそういった事業者がいらっしゃるものですから今回お願いしてございまして、特定事業を行うNPO法人という限定がありますけども、本町でいいますと農業、林業、漁業及び金融保険業を除く以外の業種が対象の事業者となります。

以上になります。

○白武 悟議長

他に質疑ありませんか。

○秀島和善議員

関連して新旧対照表で担当課長にお尋ねしますけれども、そのような事業所は本町内に何件存在するのでしょうか。

○矢川又弘 6次産業専門監

今回改正をします条例に基づきます対象事業者は2事業者だと思っております。以上であります。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○内野さよ子議員

この小口融資条例につきましては、事業者の金融機関に町が委託をしてあるものだと思いますけれども、全体的なこの条例に関してでよかったら、これについては大体限度額が500万円と設備資金が700万円というような限度額があるようですが、金融機関に対して町は全体的な総枠というか、商工会に委託されている金額ですね、年間このくらいとか、何かそういうものは決めてあるのか。今後また広がってくると思いますので、そういうところでお金をどういうふうに契約をされているのかお願いします。

○矢川又弘 6次産業専門監

今どういった商工会にということでもありますけども、商工会さんは申請を手伝っていただいているという状況にあります。この後一般会計予算でお願いしてるわけなんですけども、町が5,000万円を出資をしまして、それを金融機関に過去の実績に基づきまして割り振りをしまして、3倍以上貸し付けていただくということで、最大で1億5,000万円の融資が町内の事業者さんにされるものと思っております。

以上であります。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これで質疑を終わります。

討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

討論なしと認めます。

これより議案第18号「白石町中小企業小口資金融資条例の一部を改正する条例について」採決をします。

本案に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第18号は原案のとおり可決されました。

日程第4

○白武 悟議長

日程第4、議案第26号「平成27年度白石町農業集落排水特別会計補正予算（第3号）」を議題とします。

質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。

討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。

これより議案第26号「平成27年度白石町農業集落排水特別会計補正予算（第3号）」について採決をします。

本案に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第26号は原案のとおり可決されました。

日程第5

○白武 悟議長

日程第5、議案第28号「平成27年度白石町水道事業会計補正予算（第3号）」を議題とします。

質疑ありませんか。

○井崎好信議員

1月の下旬に積雪等の記録的な寒波があったわけでございます。水道課の職員さん方、日夜非常に御苦労なされたというように思っております。

先般佐賀新聞にも掲載をされておりましたが、佐賀市の水道局では大幅な時間外勤務というようなことで、補正予算が増額をされたというようなことが掲載をされつつたわけでございますが、水道課におかれましてはそういったことがどういった状況だったのか、その辺わかればお答えをいただきたいというふうに思います。

○山口弘法水道課長

1月25日につきましては、佐賀地方气象台観測以来のマイナス9.6度というふうな非常に寒い気温だったことによりまして、寒割れ等がかなり発生しました。時間外におきましても、夜間に漏水箇所等の調査を行っております。職員が延べで137時間程度時間外をしております。この時間につきましては、一般会計のほうから災害対応というふうなことで予算を出していただいております。

以上でございます。

○井崎好信議員

そういたしますと、災害対応というようなことで、一般会計からの支出といたしますか、ができるというふうな条例なんかでできているものですか。その辺は企画財政課長。

○片渕克也企画財政課長

一応、例えば今回に限らず、台風来襲の折だとかといったところは役場全体で対応しますので、その場合は各所属所属の時間外対応にしますとパンクすることもありますので、ふだんの業務とは別途に経理をすることにしております。

○白武 悟議長

他に質疑ありませんか。

○吉岡英允議員

ページ数11ページをお願いいたします。

11ページで説明を受けましたけども、収入において節水の影響で1,140万円ほど減額補正ですか、をするというふうなことで説明を受けたわけなんですけども。それに基づいて、今後節水で1,000万円というふうな多額の収入が減るというふうなことで、これから先ずっとそういうふうな傾向があるかというふうなことで。

もう一つは、新規にというか、個人宅で井戸を掘っている方がずっとふえてるかというふうなことを2点お伺いしたいと思います。

○山口弘法水道課長

営業収益につきましては、給水人口が年々減っているというふうなことで、少なくなっていくんじゃないかなというふうなことで考えております。ここの部分につきましては、当初予算につきましては、23、24、25年度の平均で算出をして掲載をしております。28年度につきましては、また人口が減っていくというふうなことで、若干修正をさせていただいております。

それと、個人さんの井戸につきましては、水道課では把握をいたしておりません。以上でございます。

○白武 悟議長

他に質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これで質疑を終わります。

討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

討論なしと認めます。

これより議案第28号「平成27年度白石町水道事業会計補正予算(第3号)」について採決をします。

本案に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第28号は原案のとおり可決されました。

日程第6

○白武 悟議長

日程第6、議案第29号「平成28年度白石町一般会計予算」の産業建設部門を議題とします。

これより質疑に入ります。

なお、質疑の際は、予算書の何ページ、予算説明資料の何ページとはっきりお示しをください。

まず初めに、1ページ歳入45ページまでの産業建設部門について質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑がないようですので、次に歳出に入ります。

ページ数59ページから62ページの地域づくり推進費の地域おこし協力隊及び道の駅の関係、並びに109ページ上水道費から113ページ労働費労働諸費まで質疑ありませんか。

○前田弘次郎議員

予算書59ページ、説明資料67ページです。

この部分で、地域おこし協力隊の報酬ということでありますけど、予算書の11ページにも地域おこし協力隊ということでありますけど、ここで1名追加になったと思えますけど、どちらの部分でどの方の分がというのがまず1点です。

それと、説明資料67ページの分のこの地域おこし協力隊の設置で、観光推進ということでありますけど、たしか観光推進協議会の中にはこの地域おこし協力隊の方は入ってらっしゃらなかったと思えますけど、今後この地域おこし協力隊を入れることがあるのかということと。

もう一つ、この外部アドバイザー招聘業務委託料で350万円あってますけど、この方は、本町における地域力を向上させるための効果的な方策について助言、指導を受けるとなってますけど、どこまで白石町のことをこの方は知ってらっしゃるのかです。本当に白石町のことをわかって助言をされるのか、以上お願いします。

○矢川又弘 6次産業専門監

済みません、予算書の59ページにありますけども、地域おこし協力隊員報酬352万6,000円とありますが、このうちの216万6,000円が今赴任しております地域おこし協力隊員の28年度分の予算であります。もう一名の方が今度予定をされてますんで、残りがその方の報酬かなと思っております。

2点目でありますけども、2点目の地域おこし協力隊員が観光推進協議会に入るかということでありましたけども、観光推進基本計画を今年度末までに策定するようになっていますけども、その中で女性の方の御意見を入れると。それと、よそからの目線を入れたいということがありましたものですから、まだ決定はしてないんです

けども、新年度におきまして、協力隊員も外から見た目の観光の提案ができればなと
いうことで今予定をしているところであります。

3点目の外部アドバイザーの件ですけども、今年度はフィールドワークという福岡
の会社の方なんですけども、アドバイザーとして道の駅の準備検討委員会に毎回参加
していただいてまして、あと町内の直売所とか6次製品の開発にも指導いただい
ますので、白石町の現状については、かなり把握をしていただいていると思っ
ております。新年度におきましてはまた契約をお願いすることになると思いま
すので、どの業者さんがなるかはわからないんですけども、現在のアドバイザー
の方につきましては、いろいろな助言をいただいていたものと思っております。

以上であります。

○片渕克也企画財政課長

説明資料の11ページに記載しておりますけれども、こちらでも主に移住定住の対策
を行ってもらうという目的で地域おこし協力隊を28年度中に募集をして、年度途中に
なりますけれども採用したいと。主には空き家バンク等の業務を計画して、そして空
き家を活用して移住定住の促進ができないかというところで頑張っていたきたいと
いうことで予算を計上しているところです。

○前田弘次郎議員

先ほどのアドバイザーの方ですけど、最後まで道の駅ができるまでということは、
年度年度で契約をするということですよ、そしたら。

それと、説明資料の71ページ。この道の駅に関して、用地の予算が出てたと思いま
す。この用地の買収はこれで大体できるということですので、大まかな道の駅の構
想図というか、こういうふうな形になるというようなのはもうできてるんでしょうか。

○矢川又弘6次産業専門監

用地の買収費等、説明資料71ページの公有財産の購入費ということで7,900万円を
上げさせていただいております。この7,900万円の根拠としましては、一番最初のと
きには単独型でつくるということで面積をはじいておりましたけれども、今回一体
型になるということで、まだ県道の買収とかが済んでおりません。その買収を参考と
させていただきましてその面積が確定いたしますので、大まかなことにつきましては、
道の駅の検討協議会でなりましたけども、実際の基本設計、実績につきましては、今
回28年度でお願いすることとなっておりますので、そのところである程度の方
向なり施設なりが出てくると思っております。

以上であります。

○前田弘次郎議員

そしたら、まだ青写真というような形はできてないということですよ、よろしい
んですね。用地の面積もまだはつきり出てないということですよ、ただ金額だけ出
したということですよ、わかりました。

○片渕克也企画財政課長

本年度業務委託をしておりました概算の計画、設計というところ、今でき上がったばかりで、二、三日前検査をしたところでございます。その中でいろいろ詳しいところは入っておりますので、まだでき上がったばかりですので、決裁等完了しましてから議員の皆様方にも一応概略お知らせをするべきかなと思っております。

○白武 悟議長

他に質疑ありませんか。

○西山清則議員

関連でございますけども、予算書の62ページです。物件移転補償費が2,000万円上がってますけども、この説明資料にも載ってますけれども、この買収する土地の中に建物があるわけですかね。ハウスのことをいってあるんですか、その辺をお聞かせ願いたいと思います。

○矢川又弘 6次産業専門監

一般予算書の会計予算書の62ページになります物件移転補償金ということで書いておりますけども、今道の駅の予定地であります福富インターの付近のところを予定をしておりますけども、そここのところに建物が建っております。これにつきましては、その前のページにあります60ページに物件移転補償調査業務委託料65万円お願いしております。この委託料でその物件移転に対します算定をしていただきまして、正式な算出になると思いますので、今のところこれは最大限これだけ見積もってるというところであります。

以上であります。

○白武 悟議長

他に質疑ありませんか。

○溝口 誠議員

説明資料71ページ、道の駅ですけども、先ほどこの用地の取得金額が7,900万円、一体型になって道路も含めてということでその価格が決まったと、これマックスで一応見てあるということでよろしいでしょうか。

あと、その下にまた運営組織支援補助金100万円ってあります。この検討委員会等としてあったと思いますけども、今からこの部分が大事になってくると思います。こちら辺、この100万円とされた根拠というんですか、そこから辺ちょっとお聞かせ願いたいと思います。

○矢川又弘 6次産業専門監

まず、この7,900万円という計上させていただいております金額は、まだ県道のほ

うの買収とかが済んでおりませんので、その分の確定をされてから金額がはじければなと思っております。まだ県のほうの買収も済んでおりませんので、具体的な金額も県がされておりますので、その価格を参考にさせていただきたいなということでマックスだと考えております。金額につきましては、まだお願いするところがあるかもわかりませんが、この7,900万円を予定をいたしております。

それと、2点目の運営組織の補助金でありますけども、一般質問の際でもこの品ぞろえということをしていくことが道の駅の成功につながるかなと思っております。今回道の駅を起す整備におきまして、下部組織であります出荷者協議会というのを設立して、農水産物の出荷なり販売計画や、それから実際研修会を行いましてその対応をしたいということで、部会をある程度そろえたいなということがありまして、部会数を今のところ5部門想定をしておりますので、その5部門から積算をした数字であります。

以上であります。

○井崎好信議員

説明資料の67ページでございます。先ほどの前田議員との関連でございます。

今回の道の駅関連で、地域おこし協力隊と外部アドバイザーの委託料が主な予算だろうというふうに思います。この協力隊なりあるいは外部アドバイザーというふうな方々によってこの道の駅が成功するか否か、とても重要な役割を担う方だろうというふうに思います。また、都市地域の移住希望者に、都心のほうに出向いてこういう移住者を募るといふことだろうというふうに思いますが、こういった専門的な分野といいますか精通したといいますか、アドバイザーを先ほど専門監の答弁では福岡のフィールドワークのほうに委託というふうなことでございます。

私たちが産業建設で広島県の道の駅たかのほうに視察に行った折も、そういったことをお話をされたところでございます。専門アドバイザーを入れてやると、非常にそれがよかったというふうなことでもございました。その辺の選考を、適任である方をお願いしたいというふうな思いですけれども。

いつかテレビで、鹿児島県のある町やったですか、協力隊の方をセブーンイレブンかなんかで営業されとった方を地域協力隊員に引き抜いたといいますか、そういったことが放送もされておりました。慎重にそういった選任をお願いして、事例では成功することを祈るわけでございます。その辺のところはどういうふうな形で選任といいますか選考といいますか、考えていらっしゃるんですか。

○矢川又弘 6次産業専門監

今貴重な御意見をいただいたと思っております。外部アドバイザーの選任につきましては、町の方針というのを理解していただいてももらわないと、白石町独自の道の駅というのができないと思っておりますので、その点は注意して私たちもアドバイザーを選任するわけなんですけども、この外部アドバイザーにつきましては、総務省の登録の方から選ばさせていただいております。この方たちから選ばさせていただけるわけなんですけども、過去のいろいろな道の駅にも精通されておりますので、新年度は

どなたになるかわかりませんが、いろんな地域を経験されてるアドバイザーだと思いますので、その中からいい方を選べたらなと思っております。

以上であります。

○井崎好信議員

そうしますと、総務省のほうにお願いをしてアドバイザーをやってもらおうというようなことだろうかと思えますけれども。こちらで面接とかせんでも、一方的に向こうからこういった方をお願いしますというような形になるわけですね、別に面接をしないでお任せした委託になるということですか。

○矢川又弘 6次産業専門監

お任せということではなくて、私たち実績等も加味しながら、白石町はこういうふうにやっていきたいんだと、こういう組織をつくりたいんだということを提案をしまして、その方針にも従っていただくと。あくまでも絵に描いた餅にならないように、こちらの主張はさせていただくというところで選定をしていきたいと思っております。

○草場祥則議員

関連ですけど、その場合、向こうから1人推薦とかそういうふうなことですか。二、三人競い合わせて競争させて、そういうふうなことで、こちらの意見と向こうのビジョンを二、三人選択するというふうな方法じゃないわけですね。向こうから白石町の方はこの方がいいですよということであれば、それを受けるということですか。

○矢川又弘 6次産業専門監

この選考につきましては、先ほどお話もしましたように、白石町の今度道の駅の出荷者協議会なりに独自の組織をつくりたいと思っております。道の駅の構成につきましても、新たな組織をつくりたいと思っておりますので、その方針につきましては、こちらのほうの主張をさせていただくわけなんですけれども。選考に関しましては、その経歴とかありますのでそれを見させていただいて、その中から選定をさせていただくことになってくると思います。

以上であります。

○白武 悟議長

ほかに質疑。

○川崎一平議員

説明資料の67ページ、先ほどからの関連でございますけれども、地域おこし協力隊の方をたびたび庁舎内でよくお見かけするんですけれども、庁舎内でどういった業務をされてるんでしょうか。

○矢川又弘 6次産業専門監

庁舎内でどういった業務をしてるかということでもありますけども、まず今、今年の7月に着任をしてまして、8カ月だと思います。まず、地域になれていただくというのを第一に考えておりまして、外から見た白石町、実際来てみてどういった状況にあるかというのを、現状を把握していただくことを最優先に今のところ業務をしていただいておりますけども、どちらかという現場に今出ていただいているというのが主な業務であります。

その次にデスクワークもあるわけなんですけども、そのときにはいろいろその直売所なり現場に行ったときに情報収集してまして、フェイスブックに載せるとか、それからその直売所さんのポップ、チラシとか、ああいうのをつくっていただく業務をしていただいております。

以上であります。

○白武 悟議長

他に質疑ありませんか。

○岩永英毅議員

先ほどの関連ですが、説明書の71ページ、アドバイザーというかプランナーのことをいろいろ御心配していただいているようですが、こういう大事業のときにはプロジェクトチームをつくったほうがいいんじゃないかと。それから、6次産業製品についても、ちょっとこれにはないですけども、関連して何点ぐらい開発したのか、そういうのを私たちにもまだ見えてきませんし、そこら辺をもっと6次製品のPRあるいはこういう道の駅のしっかりした運営に対して、こういうのが今6次産業の専門家のほうに集中してると思います。課の設置も新しくなるようですが、そこら辺の町内全部の命運がかかっている事業でございますので、ここら辺はプロジェクトチームを組んでなしていくべきじゃないかなと。

道の駅推進協議会のほうに私も直売所の関連で入ってはおりますが、確かにすばらしいアドバイザーを推薦してもらってます。ただ、やはり根幹は町の事業ですので、町の職員がそれをカバーしていくところまでちょっとついていけないかなというふうに思います。そこら辺で、これは一般予算ですので、そういう要望を申し上げて、これは回答は要りませんが、そういうのを考えられたほうがいいんじゃないかなと。

新年度では多分出荷協議会、こういうものに対してはかなり綿密な計画が要ります。今直売所を私見てますけれども、ああいう小さなところでも出荷協議会の結束力をまとめていくというのは大変な作業になります。これを外部のアドバイザーだけでは到底やっていけないというふうに思います。この辺、町長、副町長、どういうふうにお考えか。

○百武和義副町長

皆さん方から特に道の駅の建設に向けて大変御心配をいただいております。これについて、今年度平成27年度から外部アドバイザーを招聘しながら、また地域おこし協

力隊も7月から入っていただきながら今現在進めているところでございますけども。特にアドバイザーなり協力隊員のほうからはいろんな面で指導なり、それから地域おこし協力隊にはいろんな仕事もしていただいております。

アドバイザーにつきましては、今までのいろんな経験といいますか、実績をもとに貴重な御指導をいただいております。平成28年度、29年度と今後もアドバイザーを招聘しながらその指導も参考にして。

そして、また先ほど岩永議員言われたように、町の組織体制についても、今回課の設置のことについても条例の一部改正をお願いしておりますけども、産業課を2つに分けるという内容でございますけど、組織についても充実をさせまして、特に道の駅については係も増設をするようにしております。人員については、1人増員という計画ではございますけども、こういった組織の充実も図りながら今後進めていきたいというふうに思っております。

以上です。

○片渕 彰議員

説明資料の71ページ、関連でございますが、先進地の視察ですね。今年度専門監は何回ぐらい先進地に勉強に行かれたか、回数をお願いします。

○矢川又弘 6次産業専門監

具体的にこの予算を使わせていただきまして行きましたのは、たかの、それから世羅、それからみつぎの3駅でありますけども、休日を利用して九州圏内、それから山口のあたりの道の駅を参考にさせていただいてまして、スタンプラリー等もありましたものですから、約25前後は参考にさせていただいてるところであります。

以上であります。

○片渕 彰議員

町長か副町長にお尋ねですが、今と一緒にですけど、何カ所ぐらい視察に行かれたか、ちょっとお尋ねします。

○田島健一町長

最近と申しますか、昨年も私青森に土地改良大会で行った折にもそのコースに道の駅があったわけなんですけども、参りました。また、福岡に行くときに伊都彩々にお邪魔したり、あちこち私も機会あれば回ってくるようにいたしております。

私が見たところは大きいなというようなところばかりでございます。検討していただく中においても、私もあそこではこうやったよ、そういうことで今インターネットでも見れますので、そういった規模とか品ぞろえとか、その駅その駅での売りというのをこういうふうになってましたよという復命は口頭でさせていただいております。

○百武和義副町長

先進地の視察についてお尋ねでございますけれども、私は、出張という形では先ほど6次産業専門監が申しました出張に同行させていただいて、たかのとか世羅を見させていただきました。それと、あと五、六カ所ぐらいは今年度暇を見つけてはとか出張の途中とか、そういった中で見学をさせていただいております。

○片渕 彰議員

この予算書にもあるように、設計委託業務が4,140万円です。膨大な設計の委託があるんですが、アドバイザーのアドバイスだけじゃなくてそれをそしゃくできるように、職員のほうもまた執行部の方も精査されるためには数多くいろんなところを見て、アドバイザーとの打ち合わせとかなんかの参考にするためには必ず必要じゃないかと思いますが。ここ35万円の先進地ってありますけど、こういうのはそういう意味では補正をしても行くべきじゃないかと思っておりますが、その辺は副町長どうでしょうか。

○百武和義副町長

先ほど片渕議員おっしゃったように、本当にすばらしい道の駅をつくるためには先進地といいますか、今成功している事例をどんどん見ながら勉強して、職員からも提案できるような知識といいますか、勉強もしていきたいというふうに思っております。

○白武 悟議長

他に質疑ありませんか。

○久原久男議員

71ページということで、この道の駅の構想につきまして、1年ぐらい前になりますか、一般質問の折にも私、公費の投入ということについていろいろお聞きをいたしました。今回こういうふうな多額の金額を投入して、巨大プロジェクトですが、これを計画されておりますが、この公費をつぎ込んだから道の駅がよくなるというものでもないというふうに私は質問の折にも言ったということを記憶しています。

そういうことで、もちろん一生懸命道の駅に関しては、皆さん地域おこし協力隊とかアドバイザーの方の意見聞きながら、また出荷者協議会の方の意見聴取しながら一生懸命努力されていくというふうに思いますが、公費のまた投入ということにならないような運営組織、また建設を心がけていきたいとそういうふうに思いますが、副町長、この件について。

○田島健一町長

この道の駅の施設整備でございますけれども、一応当初は単独ということでございますけれども、一体型ということで国からの援助もいただけるということになってございます。そういった中で、国や県との協議もしながら、施設整備また建物についてはうち独自でもいいわけでございますけれども、それに当たっては箱物そして中の運営、いずれにいたしましても町が先導的にやるということじゃなくて、先ほど来お話があ

りますように、アドバイザーであるとか地域協力隊であるとか、また地元の人たちの出荷協議会、いろんな方々の意見を聞きながら。

とにかく先ほど議員からも言われましたように、白石町の命運を分けるよと、そこで絶対失敗は許されないわけでございますので、十分に検討に検討を重ねて完成に持っていきたいというふうに思っているところでございます。その上では、今回も今年度基本構想、基本計画が今年度いっぱいということで、先ほど課長が検査を数日前に行ったということでございます。早い時期に議員の皆さん方にも御提示をして、中途中途での報告もさせていただきたいというふうに思っているところでございます。

以上でございます。

○吉岡英允議員

私も関連でございます。71ページで質問させていただきます。

道の駅というか有明の沿岸道路が、先日来のお話によりますと若干遅うになるかもわからんというような話がございまして。それに伴いですが、この計画で申しますと平成30年度には道の駅の供用開始というふうなことで事業内容を決められておりますけれども、仮に沿岸道路が福富のインター前に来んやっつと、まだ工事が終わらんとしてもこの開業日を決めて開業される計画なんですか、工事の進行と道が開通できなくても。そこだけお聞かせください。

○田島健一町長

今年度は基本構想だったんですけども、28年度になりますと具体的な設計業務をお願いするようにいたしております。この設計業務の中で工事工程等々も明らかになるんじゃないかなというふうに思います。私といたしましては、道の駅30年度、31年の春までには完成するだろうということで、そこら辺を見通して直前に完成できたらなという思いでございました。

先ほど吉岡議員からの発言ありますように、有明沿岸道路がひょっとしたらおくれるとどうなるかという御質問でございますけれども、有明沿岸道路については、私はまだ県からもはっきりと30年度開通がおくれるという正式なお話は承っておりませんので、私は30年度に完成するものというふうに思っておりますし、道の駅についても、その30年度の中でインターチェンジのオープンの前には完成させていきたいというふうに思っております。

もし、もしもして有明沿岸道路がおくれるといっても、うちは28年から設計をして工程をつくっていくつもりでございますので、それをあわせて途中で工期をわざと長くなすばいってなんぞというとはないかなというふうに思っているところでございます。ただ、一番私が心配してるのは、有明沿岸道路の本体工事がある、武雄福富線の延伸工事がある、それにまたうちの道の駅の工事もある、なおかつ海岸事業の工事もある道路通って行かないかな。ちょっとそこら辺が工事担当部局においては調整をする必要が十分にあるんじゃないかな。私は、工事工程の中でちょっとそこら辺が一番大きいんじゃないかなというふうに思います。

以上でございます。

○井崎好信議員

もう一回質問よかですか。

○白武 悟議長

1回です。

○井崎好信議員

私は説明資料の56ページ、公共下水道の接続促進事業が今回780万円ということで、前年度よりも300万円程度の減額をされております。これは早期接続に対する優遇措置ということですが、減額をされた理由と。

平成25年12月から供用開始が始まっておりますが、接続率といたしましては——その前に、この予算の消化の状況ですね。26年度の春から明けて26年からと思っております、その予算消化の状況を1年目10万円がどのぐらいあって2年目がどのぐらいあって3年目がどのぐらい、現在までどのぐらいなのかということと。

接続率がこの区間区間で順次供用開始というようなことで、なかなか接続率が正確にはできないと思っておりますけれども、早く接続されたところからわかる範囲、その辺のところでお答えをお願いしたいと思います。

○堤 正久下水道課長

予算説明資料の56ページ、公共下水道接続促進事業でございます。昨年からの減額をされているということでございます。

この主な理由につきましては、本年平成27年度に公共下水道の事業として町で行ったのが舗装復旧でございます。面的整備は28年度から行うということで、27年度については舗装復旧を実施したということでの見込み数を、補助対象として150件ほど見込みますよということでございます。28年度整備したところについては、28年度の末か29年度の早い時期に供用開始を行うということになりますので、その分での減額というふうに御理解をいただきたいと思っております。

それから、この補助金の実績といたしますか、状況ということでございます。1年目が34件、補助額といたしまして172万2,000円、それから26年度です。供用開始をして1年目につないでいただいたところが129件、金額としまして603万9,000円。2年目の方について5件、21万3,000円、27年度の現在の2月末ごろの集計でございますが、1年目につないでいただいた件数が83件、金額といたしまして533万7,000円、2年目につないでいただいた方が33件、金額にいたしまして161万3,000円、3年目につないでいただいた方が1件、金額にいたしまして3万3,000円になっております。

以上でございます。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○溝口 誠議員

説明資料の54ページ、水道事業特別会計の補助金でありますけども、この事業内容の上水道高料金対策補助金、これは自然条件等により建設改良費が割高ということで、これは積雪のときの割高なのでしょうか中身は。そしてまた、前年度からすれば約900万円近くふえております。もし、そういう自然条件がなければ平年並みでいいのか、お聞かせ願いたいと思います。

○山口弘法水道課長

この高料金対策補助金につきましては、今回の寒波による寒割れ等の料金とは関係ございません。通常高水準の料金を設定せざるを得ない水道事業につきまして、料金格差を縮小するために資本費の一部について繰り出していただいているものでございます。

以上です。

○溝口 誠議員

900万円ふえてますけど、これはこの割高の状態がずっと続いていくような状況になりますか。

○山口弘法水道課長

この補助金の額につきましては、前々年度の有収水量立方メートル当たりの資本費に給水原価が基準要件を満たす場合に、資本費のうち基準を超える額に有収水量を乗じて算出するというふうなことになりますので、年々減少していくというふうなことになっていきます。まだちょっとはつきりした数字はわかりませんが、平成30年までぐらいで高料金についてはなくなってしまうんじゃないかなと思っております。

以上です。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

暫時休憩します。

10時37分 休憩

10時50分 再開

○白武 悟議長

会議を再開します。

○堤 正久下水道課長

先ほどの井崎議員の御質問の中で、1つ御回答を忘れていた分がございます。まことに申しわけございません。

公共下水道の接続率という御質問があったかと思っております。年度ごとに申し上げますと、平成25年供用開始地区については43%、平成26年供用開始地区につきまし

ては32%、平成27年供用開始地区については25%、公共の全体といたしまして35.9%となっております。この数字につきましては、平成28年2月末現在の接続率になっておりますので、よろしく願いをいたします。申しわけございませんでした。

○白武 悟議長

ページ数の59ページから62ページの地域づくり推進費の地域おこし協力隊及び道の駅の関係並びに109ページ上水道費から113ページの労働諸費まで質疑ありませんか。

○久原房義議員

説明資料の55ページになりますけども、これ浄化槽の整備推進事業の関係でございますが、下水道関係についても着々と整備が進んでおりますけども、ここではいわゆる個人での合併槽の事業になりますけども、新年度で60基を計画をしておりますけども、全体的な下水道の整備率を今答弁されておりましたが、下水道ではない、いわゆる単独でいく地域の整備率は全体的にどういった形になっとるのでしょうか。

○堤 正久下水道課長

今全体数量の整備率という数字を探しておりますので、あともって回答してよろしいでしょうか。

○白武 悟議長

後で回答するようにいたします。
ほかに質疑ありませんか。

○溝上良夫議員

簡単な質問を1つ、111ページです。負担金。土地改良事業団体連合会特別賦課金29万9,000円、これの説明をお願いいたします。

○堤 正久下水道課長

予算書の111ページ、19節です。下から4行目、土地改良事業団体連合会特別賦課金という29万9,000円でございます。これにつきましては、牛屋東分地区の機能強化事業を28年度工事に着手するということにいたしております。その連合会への農集の事業ということで、特別に賦課をして負担金を納めるというようなことになります。対象事業主といたしましては、1億6,400万円の0.1823%を土地改良事業団体連合会のほうに賦課金として支出するものでございます。

以上でございます。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑がないようですので、ページ数113ページから115ページの農業委員会費まで質

疑ありませんか。

○草場祥則議員

農業委員長さんに最後のはなむけで1つ質問をしたいと思います。

予算書の114ページ、報償費です。これの農地利用調査報償費というのが出ておりますけど、これは国土利用計画と関連があるわけですか。

○一ノ瀬美佐子農業委員会事務局長

これにつきましては、農地パトロールを年2回行いまして、遊休農地や非農化した農地についての調査を行っているものでございます。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑がないようですので、ページ数116ページの農業総務費から121ページの農地費の前まで質疑ありませんか。

○片渕栄二郎議員

説明資料64ページと61ページで質問させていただきたいと思います。

まず、64ページの集落営農法人経営安定化支援事業。この事業につきましては、28年度までの事業ということで聞いておるところでございます。この28年度に集落営農から法人化が設立された組織に対しては30万円の交付金がありますよということでございます。そして、先ほど申し上げましたように、61ページの農業経営力向上支援事業に関しては40万円の交付金が法人化への支援というような形で交付されるようでございます。目的なり事業内容を見ますと、余り変わらないのかなというような感じを持っているところでございます。この28年度に法人化を設立した場合は、この30万円とさっきの40万円合わせて70万円の交付金を受けられるのか、その辺をお尋ねをさせていただきたいと思います。

○西山里美産業課課長補佐

失礼します。61ページの農業経営力向上支援事業の40万円でございますけども、これは国からの補助ということで、40万円1組織に来るものでございます。

それから、64ページの30万円というのは、白石町の一般財源のほうで予算をお願いしている分でございます。法人化になった場合は両方が補助金としていくというような形になると思います。

○片渕栄二郎議員

わかりました。それで、64ページのこの事業は、28年度までの事業ということで説明を受けておりますけれども、この28年度に10組織の法人化を見込んでおられますけれども、これがたとえ10組織法人化になったとしても、過去に2組織化になっておりま

すので、12組織ということになるわけでごさいます、まだまだ58組織ぐらいが法人化になっていないというようなことで、29年度以降にもこの事業の予算化はできないものか、その辺をお尋ねをいたしたいと思います。

○西山里美産業課課長補佐

先日の一般質問の折にも法人化ということで御質問をいただいておりますけれども、28年が一応再延長しました法人化の期限というふうになっております。それ以降につきましては、法人化が確実であるというふうのうちの方が認めて、法人化のほうに向けて話し合いをしていただくという形になっております。期限であります28年までを一応の区切りといたしまして、この補助事業をするということになっておりますので、29年度以降については今のところ考えておりません。

○堤 正久下水道課長

先ほど久原議員の御質問に保留をいたしておりますけれども、汚水普及処理人口で申し上げますと、個別処理、合併処理での浄化槽での処理人口と現在設置をされております人口ということでございまして、水洗化率にいたしまして42%を持ってるところでございまして。

以上でございまして。

○白武 悟議長

今の答弁でよろしゅうございましてか。

○久原房義議員

これ面的には下水道事業があるわけですが、ただ個別地区については42%ということで、まだまだ低い状況だというふうに思っております。そういう中で、これあくまで個人さんの希望によるものではあるわけですが、年間60基程度でいけば100%になるのは何年かかかるものなんでしょうか。

新年度60基ですが、恐らく地域の水質汚濁というものをできるだけ加速化しなければいけないというふうに思いますが、年間60基程度でいけば、100%はあり得ないにしても、ほぼ80%以上程度になるためには何年間ぐらいあと要するものなんでしょうか。

○堤 正久下水道課長

なかなか難しい御質問でございまして。計算上で申し上げますと、個別処理区域の総人口を1万2,000人程度と見込みまして、現在水洗化をされているところが5,000人程度というふうに見込んだといたしまして、差し引いていきまして1世帯当たり3.5人程度の世帯人員と想定をいたしますと、年間60基を整備していくということになりますと約34年から35年かかると。あくまでもこれは想定でございまして。

以上でございまして。

○久原房義議員

恐らくそういうことになるだろうと思ってお尋ねしたんですが、以前は100基程度やとったわけです。もちろん下水道の兼ね合いもございますから、下水道での整備地区がふえてまいりますので、これは個別処理の地区が減っていくということは当然ですが。恐らくあと35年ぐらいかかるということはかなり長いわけですが、これを加速化させるためには60基程度では到底間に合わない。しかしながら、これあくまで個人の希望ですから、希望がなければなかなか進まないわけでもございすけども。ただ、希望を進めるための方策を考えなくちゃいかんだろうというふうに思うわけです。したがって、現在の補助率もかなり町の単独の上乗せもやって、それでもなかなか整備率が上がらないということですが、何か整備率を上げていくための方策を、方策はなかなか難しいとは思いますが。

恐らく下水道の地区はある程度スピードが上がっていくというふうに思いますが、ただこの個別の処理地区のスピードを上げていくための方策を何か考えていただかなければ、全体的な水質をよくなしていくということにはつながっていかないわけですので、その辺の何か一つ整備率を上げていくための方策を考えていただきたいというふうに思いますが、その辺はいかがでしょうか。

○堤 正久下水道課長

個別処理区域での浄化槽設置の推進をということでございす。浄化槽につきましては、議員御質問のとおり、個人さんの設置ということになっております。町といたしましても、方策という観点からいいますと他自治体にもないような上乗せを行いながら、集合処理との遜色のないような補助事業を展開をいたしているところでございす。設置の推進につきましては、9月の浄化槽の日とかそういうものの周知を図って、皆様の環境への意識高揚に努めているところでございすけども、今後さらにそういう啓発活動を行っていくことが必要ではないかなというふうに思っております。

集合処理を含めて水洗化率については、現在白石町については相当低いところにあるというふうに思っております。佐賀県の汚水処理普及人口の10年前のパーセントということもございす。集合処理区が接続をしていただいで、そういう機運といたしますか、皆様の会話の中でも水洗化とか流域の環境改善ということに意識を持っていただくことが合併浄化槽の普及促進につながるのではないかなというふうに思っております。議員御質問の方策というものについては、今後検討課題にさせていただきたいというふうに思っています。

以上でございす。

○白武 悟議長

116ページの農業総務費から121ページの農地費の前まで質疑ありませんか。

○川崎一平議員

説明資料の64ページ、先ほどの片渕栄二郎議員と関連でございす。

ここにあるのが集落営農法人経営安定化支援事業ということでありすけれども、

この事業は集落営農の法人化のみに限ってしかないのでしょうか、別の策で個別担い手さんたちの法人化に対するこういった事業というのはないのでしょうか。

○西山里美産業課課長補佐

ここに上げておりますのは、今おっしゃいましたように集落営農の法人化のための事業でございますので、現在のところ個人担い手さん等の法人化に向けての支援はないような状況でございます。

○井崎好信議員

説明資料の59ページ、有害鳥獣広域駆除対策事業121万円でございます。この件につきましては、一般質問でも片渕議員が質問をされたところかというふうに思います。121万円と前年度並みの予算措置でございます。

今全国的にこの山間地なりでは有害鳥獣の被害をこうむっているわけございまして、本当にこの予算でいいのかという思いと、先日これも新聞に掲載されておりましたが、佐賀市では箱わなでカラスが大量に駆除ができたというようなことから、ふやすというようなことが掲載をされておりました。そういったことも計画をされているのか。

それと、猟友会の方が今非常に少ないというふうな話を聞いております。議会の中にも会員さんいらっしゃいますけれども、今後わなとかそういったことも含めて、猟銃による駆除というふうなことも当然考えられていくわけでございますが、この会員さんをなかなかふやすというのは難しいと思いますけれども、その辺の計画でも考えられたらというふうな思いでございます。

もう一つは、予算額として不足する額を町、JA、農業共済が負担して運営していくというふうなことでございます。この駆除につきましては、カモが漁協からの要請で駆除もされております。漁協は入っていないのか、そしてこの対策協議会の中にメンバーに入っていないのか、その点お答えをお願いしたいと思います。

○西山里美産業課課長補佐

御質問の121万円ですら足りるのかということでございますけれども、この分につきましては先ほども言っておりましたが、町と農協それから共済のほうで負担していただきます分と、国、県の補助事業等を使いまして、今のところ121万円の支出で何とかなっているような状況でございます。

佐賀市のほうで行われております捕獲おりについてですが、先日一般質問の折にもお答えしましたが、うちのほうで小型のものを2基設置しておりますけれども、なかなか効果が上がっておりません。それで、わなよりも追い払いのほうの方が効果的であるというような助言もいただきましたので、捕獲おりの増設については現在のところ予定をしておりません。

それから、猟友会の会員様ですけれども、現在イノシシの捕獲ということで、14名の方がわなでありますとか銃、それから両方の資格を持っておられる方がいらっしゃいます。それから、鳥の駆除。カモ、カラス等の駆除で13名の方がうちのほうに登録を

していただいて活動をしていただいております。

会長さんは一番高齢になられるわけですが、一番若い方で30代後半ということで、なかなか若い方がいらっしゃいません。以前は地域でわなの資格を取って地域で守っていきこうということで、地域ぐるみで資格を取られた地域もございましたけども、更新の折にもう何もせんけんということで、更新をされなくて資格を持ってる方が減ったりというようなこともありますので、そういう更新の講習会等がありましたら、こちらのほうに言っていただければ補助等しながら、なるべくそういう専門的な方が定着をして地域で守っていただけるようになれば、こちらのほうとしても大いに効果が上がるのではないかなというふうに思っております。

ですので、なかなか銃というのが管理も難しく、資格を取ったりそれから銃の購入等も費用がかかるということで、会員さんはなかなかふえておりませんし、若い方はお勤めに行かれていますので、昼間銃を持って活動というのがなかなかできないような状況でございますので、その辺は猟友会の方等々とお話し合いをしながら、何とか会員さんの増加につなげていけるような方策ができればというふうに思っております。

漁協のほうですけども、個人的に猟友会の方に依頼をされてカモの駆除等を行っておられます。協議会のほうには、以前はノリのほうの被害というのが余りなくて、こちらの協議会のほうには加入をされておられません。漁協のほうを会員として入れるかどうかについてはまだ検討課題ではございますけども、現在のところ会員さんとしては登録をしていただいております。

○井崎好信議員

そういうわな等も資格を取らなければならないと思いますので、そういったところでも少しでも取るための補助なんかも出していただいて、なるべく会員をふやすようにお願いしたいと思います。

漁協のほうも、特にカモの被害を大分受けられております。それは有明海全体で。個人じゃなくて、私は漁協からの要請で猟友会のほうで対応されていると思っておりますので、ぜひともそういう対策の協議会には加入をお願いしたほうがいいかなと思っております。お願いいたします。

○喜多忠則農村整備専門監

先ほど漁協のほうとの話がございました。うちのほうで水産振興連絡協議会という組織をつくっております。これは町と漁協と一緒に水産の進行をしようという形で、協議会を年1回、2回行っております。その中で、カモの被害についてお話あっておまして、カモについては駆除ということで、何とかできないかということで鉄砲の弾の補助と、もう一つは漁船の油の経費、これについて協議会の中から支出しようということで、今のところその2点について支出をしております。

その中で、猟友会の方の問題がありまして、きょうの前田議員さん初めいろいろ御協力いただいて、今一応各漁協3名で駆除ないしそういった、カモを打ち落とすことはできないんですが、追い払うということで今しております。

以上です。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○大串弘昭議員

それでは、説明資料の60ページでございますけども、佐賀園芸農業者育成対策事業の分です。

ここを見ておりますと、前年度から見て極端に今年度予算額計上されてるのが少なくなってるようです。前年度は1億1,700万円、本年度2,200万円ということですけども、何か特段に要因があるのか、その辺のところお聞かせください。

○西山里美産業課課長補佐

前年に比べて極端な減額ということでございますけども、これが平成27年度に28年度要望の分の前倒しということで県のほうから要請がありましたので、28年度に予定されていた方が、結構な数ですけども27年度に事業をできる方はするという事で前倒しをしましたので、その分で大幅に前年度の予算よりも減額というふうになっております。

○大串弘昭議員

前倒しをされた方はどれくらいおられるのか。今非常に新規就農者にもこの町のほうは力を入れておられるわけでございますして、特段この農業は米麦だけではやっていけないというふうな状況下でございます。特に今後は園芸に頼る分が非常に大きくなってくると思いますが、その点も含めて新規就農者の皆さんにぜひともこういった事業を利用いただいて、ここに掲げてありますようにもうかる園芸農業を確立するというふうなことでございますので、その点については特に力を入れていただきたいという思いでございますが、その点についてどうでしょうか。

○西山里美産業課課長補佐

新規就農者につきましては、町のほうで認定新規就農者ということで、審査をして認定をさせていただいております。その方たちにつきましては、この佐賀園芸農業者育成対策事業でございますけども、2戸以上の農業者が組織する団体というような規程が大体ございますけども、その認定新規就農者というのうちのほうで認定をされますと、1人でもそういう補助事業が受けられるというようなこともございまして、補助率も60%ぐらいということになっておりますので。

新規就農者の方がうちのほうで認定新規就農者になられるときに、就農計画等の審査それから相談に見えますけども、そのときにどういう施設設備をしたいとかどういふのが必要ということになりますと、資金面から相談を受けておりますけども、その中でこういう事業が活用できないかということで提案をして、費用等を補助ができればということで今お話をしているような状況でございます。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○岩永英毅議員

説明資料の68ページ、予算書ページの117、118。この中で、活性化委員の報償費で9名の6回というふうに書いてありますけれども、これ多分研修費か何かだろうと思いますが、報償費の具体的内容。

○矢川又弘 6次産業専門監

今議員御質問がありました説明資料の68ページのところなんですけども、報償費ということでもありますけども、今現在6次産品化をする段階でそのプランを出していただきまして、どういった産品を6次化するというところで申請をしていただきましてから、その6次産品化がどういった内容かということ審査を行っていただきます。審査を行っていただきまして、その後本当に具体性があるかとかということ審査をしていただく委員さんが今9名さんいらっしゃいます。その方たちに審査及びその内容等を説明するために会議を開く際の報償費であります。年3回ぐらいを予定をしております。審査の内容の公表という形で行っております。その分の報償費であります。

以上であります。

○岩永英毅議員

今9名の3回と言われましたけども、これには6回ってなってますので、審査それから公表でダブルのかなと思いますけれども。ただ、今大体何品ぐらい開発されてるのかですね。町が携わってこの負担金補助及び交付金で450万円計画されていますけれども、6次産業化で開発した商品。

6次産業で開発したらこれの売り先が見つからんとだめですよ。せっかく開発しても売り先がない。ただ、地元でも直売所にこれが6次産業で補助金を出してつくった商品ですよというコーナーを設けられるような働きかけを今の3直売所にされたことがあるのか。うちは売れんから来られないのか知りませんが、うちには全然来られてません。そういう働きかけを、せっかくこれだけの450万円も出して、あるいは130万円の委員報酬も出して、せっかく開発した物を売り先を見つけんとどうしようもないわけです。開発した方も売れんとだめです。だから、そういう売り先のテクニックを産業課はしてやらんといかんというふうに思いますけれども、そこら辺の働きかけの費用あたりはこの旅費だけなのか。

通行料も3万円みてありますけれども、そこら辺の拡販費、宣伝費というのをもってやらんと、パンフレットをつくってやるとか、そういう費用がこれには組まれてませんので、補正でも結構ですから6次産品開発品のパンフレットでもつくって積極的に売り込みをして歩くよ。よその道の駅にでも直売所にでもどんどん出していくという積極性をここで見つけていただきたいと、そういう費用をつくっていただきたいというふうにお願ひして。ここら辺、町長、副町長、どういってお考えなのか、6

次産業製品のそういう積極的な売り込みあたりをどこでどういうふうにしたというのをお伺いします。

○田島健一町長

6次製品をつくってくださいというのを役場は一生懸命推奨してるわけですが、議員おっしゃいますように、開発はしても最後売れんぎに何にもならんやろもんということでございます。そこんところにもっともっと力を入れるべきじゃないかという御質問かというふうに思います。

この6次製品推進事業の中には、補助対象といたしましても、研究開発から販路開拓まで入っとるわけですが、この予算の中でそういったものもやらにゃあいかんということでございます。

現在の今次予算の中では、パンフレット作成等々が入ってないかもわかりませんが、やはりパンフレット作成はまた今後検討していくとしても、町内に3カ所の町も絡んだような直売所があるし、また民間の販売店もございます。そういったところに生産者といいますか、つくられた方と役場も一緒になって、そういうところでの展示、販売もお願いしていくということをしていなかいかんというふうに思うわけですが、これについては、まだまだ6次製品開発のところだけで今力いっぱい入れ過ぎておりますけども、販路拡大のほうにも力を入れてまいりたいというふうに思います。

○百武和義副町長

ただいま町長のほうから答弁あったとおりでございますけども、今回の補正予算のほうで地方創生加速化交付金事業を活用いたしまして、6次製品の事業主が販路開拓をしていく上でも、専門的な知識やノウハウの勉強、こういったこともかねて販路拡大事業というものを471万円ということで予算計上をお願いしているところでございまして、こういった事業を通して事業主の方々もどんどん販路拡大に向けて勉強もして、実際の拡大もしてほしいということで考えております。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○前田弘次郎議員

予算説明書68ページ、今の岩永議員さんに関連してですけど、質問がかぶらないように注意して質問します。

ここの6次産業推進事業補助金ということで、さっき岩永議員さんも聞かれたと思うんですけど、今年度何業者を大体目安にされてるのかというのを1点お聞きしたいと思います。

○矢川又弘 6次産業専門監

今前田議員のほうから何事業者をということでお話をいただきましたけども、26年

度が9事業者10件の542万2,000円、27年度が7事業者で325万2,000円ということで、7件という実績がありますけども、新規が2件とちょっと低調であったものですから、28年度は新規の方の掘り起こしをしたいと思っております。

具体的な事業件数は、多ければ多いほどいいということは考えておりますけども、なかなかこの6次化というのを単独で行われることが非常に難しいものですから、今回先ほど副町長のほうからも説明がありましたけども、加速化交付金を使いましてその販路拡大の支援なりチラシなり、それからほかの直売所さんの支援とかもできたらなと思っております。

以上であります。

○前田弘次郎議員

この業者は町内に限定するんですね、というのと。あと、実は福富の直売所でタマネギスープですか、が多分6次産業で開発されていると思っておりますけど、私も購入していただきました。確かに商品はすばらしいです。ところが、この袋がなかなか開きません。これお年寄りの方やったら多分開け切れないと思っております。こういうふうには消費者目線で——商品の中身の開発も結構ですけど、パッケージとかそういうところももう少し気を配っていただきたいと思っておりますけど、お願いします。

○矢川又弘 6次産業専門監

今タマネギスープの件でお話をいただきました。確かに私も飲ませていただきましたけども、開けにくいなどは思っております。そのことも含めまして、商品の磨き上げをどの業者さんにもお願いをしております。講習会を今度の販路拡大につきましても予定をしております、そのときにこういったさらに改良を加えていくと、デザインもこれでいいのかと、味はこれでいいのかということを検討させていただきたいと思っております。

以上であります。

○前田弘次郎議員

よろしく願いしときます。

最後にですけど、先ほど岩永議員さんも言われましたけど、販路開拓費、ぜひホームページ、フェイスブックなどを利用して大々的に宣伝をお願いして、これはお願いですのでよろしく願いしときます。

○白武 悟議長

ほかに。

○片渕 彰議員

説明資料の51ページ、それとページ数は118と119ページ。井崎議員さんのほうからも先ほど質問をしていただきましたが、昨年この説明資料の分121万円の予算が上がってますが、これは国、県の分は昨年まで予算して、約480万円ですか、500万円ちょ

っと切るぐらいの総予算があったと思いますが、それについてと。

もう一つは、ページ数で119ページ、有害鳥獣防止対策事業費の補助金75万円上げております。これの説明をお願いしたいと思います。

○西山里美産業課課長補佐

121万円でございますけども、総事業費の中で補助率等がございまして、国、県補助の総事業費は400万円を超しておりますけども、補助金としてはこの金額ぐらいを見込んで予算的には足りてるような状況でございます。

それから、予算書の119ページの有害鳥獣被害防止対策事業費補助金75万円でございますけども、これは一般の今生活被害等も発生しているということで、以前は種レンコンの保護ということで、レンコン田につきましてこういう補助をしておりましたけども、今ハウス等へのタヌキ等の侵入でありますとか、そういう生活被害等もございますので、自分の家で鳥獣被害の防止対策をとられた方につきまして、半額の補助でございますけども、上限2万5,000円ということで、一応30件分を見込んで75万円の予算をお願いしているところでございます。

○片渕 彰議員

説明資料の51ページにまた戻りますけど、前年度は国の補助金、ちょっと私資料を持ってこなかったんですが、前年度国の補助金、県ですね、それからいろいろ明細も書いてありました。ことしはこれだけ、町の単独の分だけ一般財源だけを持ち出しての説明ですけど、そういう面では昨年とほとんど変わらないか。

課長補佐、一般質問の折に言われたように、国あたりの補助金がずっと下がってますということを言われてるものですから、その辺を危惧してるわけですけど、その辺についてももう一つお願いします。

○西山里美産業課課長補佐

国、県の補助を使いまして事業を行う分につきましては、ほとんどの地域で設置が完了というか、大まかなところはカバーをできているような状態でございます。新規に事業をされる方を前年並みと見込んで今のところ計画をしておきまして、予算的には昨年と変わらないような状況になっております。

ただし、イノシシ等の捕獲に対します補助、それも減額をされるような見込み、まだ今のところ28年度については何も減額というふうなことは言われておりませんが、総合的に全国的に事業を実施して、その後で補助金の額が確定しますので、今のところは何とも言えない状況でございます。

以上です。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑がないようですので、次にページ数121ページの農地費から134ページの漁港整

備事業費の公課費まで質疑ありませんか。

○井崎好信議員

説明資料86ページ、漁港整備事業費でございます。

これは福富の住ノ江漁港に関連する事業費でございます。今福富支所の方、本当に六角川に滞留をされて、そしてそこに艀船で乗船をして出港をされてるといような状況で、非常に不便をきたされてるところかと思えます。

福富支所、今回設計の業務委託が主な予算となっておりますが、福富支所の要望等もあって、そしてまた概略設計の青写真なんかできておりましたらその辺の説明と。

あそこは六角川ということで第1種の港湾ということで、第1種の漁港だというふうに私は認識をしておりましたが、そういった港湾、漁港というようなことで、いろんな建設に際して縛りといいますか制約等があるのか、その辺の2点をお伺いをいたします。

○喜多忠則農村整備専門監

まず、青写真があるのかという御質問だと思います。今回86ページのほうに上げております2,717万8,000円のうち、この特定漁港漁場整備事業計画書の作成ということで計上しておるものと、その下のほうの委託料で水産生産基盤整備事業住ノ江漁港認可設計業務委託で1,200万円ちょっと上げております。まずは、この青写真というのが昨年また一昨年から漁港のほうとお話をさせていただいて、いろんな要望がっております。

中身については、住ノ江漁港については5号と6号の棧橋がありまして、特に5号棧橋については昭和40年代に、多分43年ぐらいだと思いますが、できた棧橋がございます。これが今機能不全になっておりまして、これを何とか機能を回復できないかということで、その部分について棧橋の改修を今計画をしております。それとあわせて、それから今先ほども申されましたとおり、なかなか竹を上げるとか船を上げるとか、そういう場所もないということから5号棧橋を活用してできないか。

もう一つは、漁港区域の隅のほうには陸区域がございません。水域だけということで、この漁港区域を拡大をして、陸域にも整備の拠点をつくれないうことと、今竹置き場とか漁船の保管場所について、近辺の農地あたりでそういうことで買収あたりで計画できないかとかという話はあっております。ただ、ここに上げておりますとおりに、まだ認可の前の段階でございます。詳しい内容は今後も漁協さんと十分話し合っ、具体的な内容で一応そういう認可の申請をしたいと思えます。

今回その認可については、一番問題なのは今先ほど言いました漁港と水域の区域の変更というのが、水産庁のほうに行つて何とかこれを通すということが一番の課題でございますので、こういったものを今計画をしておるところでございます。

以上です。

○井崎好信議員

5号棧橋が昭和43年代に建設されたということで老朽化してると、そこから始める

というようなことで。将来的にといいますか、これ7年間ですか、移譲期間が。新有明漁港のようにあいった漁船なりあるいはポール、そして資材関係部門ですね、も陸揚げができるような形でというような要望かと思しますので、なるだけそういう要望に沿った建設をお願いしたいというふうに思います。

○喜多忠則農村整備専門監

済みません、先ほど申し上げ忘れておりましたが、第1種漁港についての縛りとかというのがあるかということでお尋ねがっております。ここについては、六角川の河川ということで、河川区域と合わせて港湾区域ですね、住ノ江港の港湾区域ということで、この2つの区域の中に漁港施設があると、そういうものを関係省庁でそういう協議を完全にしなきゃいかんというのが一番の問題だと思います。

そういったネックはありますが、そういうところでクリアをしながらいく中で、まずもってここに事業名で水産生産基盤整備事業ということで書いております。これは国の補助事業の名称でございます、漁港の整備については一般的にこの補助事業に乗せて一応整備をするということになりますので、これ県の漁港課あたりと十分事業メニューを考えながら、今後進めていきたいと思っております。

以上です。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○西山清則議員

説明資料の84ページですけども、嘉瀬川ダムから水が入ってきて、ため池の水を活用するのは余りないと思いますけれども、防災のためにも整備をするのは不可欠だと思っております。

先日鳥巢ため池のところに行ったら、あそこはほとんどため池の用としてはほとんど活用されていませんけれども、斜面のところは陥没しておりました。そこに大雨がきたときに下の家のほうが危ないんじゃないかなと思っております。そのためこの中に入っていないもので、その整備がどの辺のところやるのかなと思ってお伺いします。

○大串靖弘農村整備課長

鳥巢ため池のことにつきましての御質問でございますけども、鳥巢ため池につきましては、ため池としての用途はもう廃止しておまして、ため池としての機能は有しておりませんので、一応建設課のほうとお話をいたしまして、建設課のほうで整備をしていただくようお願いをしているところでございます。

○西山清則議員

あそこは余り機能はしていません。かなり浅くなっておりますけれども。それとあと、水の流れるところもほとんど水が流れる道がなかったですわね。あれが大雨がき

たときに陥没したところから出たら下の家が危なくなるんじゃないかなと思っておりますので、早急に手配していただきたいなと思います。

○荒木安雄建設課長

先ほどのため池の件でございますけれども、一応後で説明したいと思っておりますけれども、予算書の151ページをお開きください。

151ページの災害土木関連費というところで、砂防費、ため池基礎調査測量委託料として50万円上げさせてもらっております。これは先ほど言われました鳥巢のため池でございます。先ほど議員おっしゃいましたように、堤体に穴ぼこがほけて、今後調査をして、上から流れてくる雨水、どれくらいの雨量が集積されてくるのか、それと堤体これからどういうふうにしていくのか、そこら辺を今後決定するために基礎測量ということで、ここに50万円上げているところでございます。

以上です。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○溝上良夫議員

まず、予算書121ページです。一番下の地下水等検討会報償費。これまでの会議の内容ですね、どういう内容をされたのか、またどういう調査をされたのか、またどういう相談事があったのか。農業用水をくみ上げなくなって地下水の水位が上がって今までどういう現状なのか、そこら辺をまずお伺いします。

それと、予算書129ページ、真ん中ほど19節負担金補助金及び交付金です。森林組合育成事業補助金、その下の森林整備担い手育成基金事業助成金です。これの内容説明と、この担い手の方が何名いらっしゃるのか、その2点お伺いをいたします。

○大串靖弘農村整備課長

まず、地下水検討会のことにつきまして御説明をさせていただきます。

地下水検討会につきましては、井戸からあふれる水が出てきたときに、平成25年に検討会を設置したところでございますけれども、国、県と共同いたしまして、あふれている井戸のそばの農地につきまして5カ所ほどと、縫ノ池付近の田んぼ5カ所ほど選定をいたしまして、農地のほうにパイプを1メートルほど入れまして、田面下の水位の調査をいたしております。その水位がどんな動きをするのかというのをまず調査をいたしております。

雨が降ったりやんだりした場合の水位ということで、それが一般質問のときにもお話をいたしましたけれども、60センチから80センチの範囲で推移をしているということで、暗排が十分に機能しているというふうな状況は確認をいたしております。

あと、どんな調査をしているのかといわれると、井戸の中の水位の調査です。それと、あふれている水の揚水量の調査なども調査をいたしております。海岸付近では満潮のときには水量が多くなるし、干潮のときには水量が少なくなるというような調

査結果を得ております。また、今現在もデータが不足しておりますので、今も調査を継続して行っているところです。

一応の結果といたしまして、平成26年度に結果を出しているんですけども、一応地下の深井戸の中の水位の圧力は上がってるんですけども、田面下までには不透水層というのがあって、そこまでは深いところの水は影響はないだろうというふうな調査結果ということで出ております。

あと、どういったふうな相談があったかということにつきましては、井戸の撤去の費用が出ないかとか、それからあとは井戸の湧水の有効な利用はどんなものがあるんだろうかというようなことがあっておりまして、有効な利用としては一般質問のときにもお話し申し上げましたけども、防除等の水に使っていただくとか、機械等の洗車、そういったものに使っていただくというようなことを申し上げておりまして、あと撤去費用につきましては、もう撤去されたところもございますので、その分につきましてはもう御勘弁願いたいというふうなことでお答えをしております。

以上です。

○喜多忠則農村整備専門監

2点目の御質問についてお答えいたします。

武雄杵島森林組合の育成事業ということでの補助金でございます30万円。この事業の目的が林業従事者の減少ということで、そういう背景の中で、林業環境の大きな変化によって荒廃する森林を守る目的で森林組合が行う事業及び組合の安定的発展のために助成しますということが趣旨のようでございます。

その中で、白石町が武雄から江北、大町含めまして、白石町が負担するのが30万円という低額で負担をさせていただいております。その中で、森林組合のほうからのこういった補助を出して、森林組合さんが将来杵島山山系について維持管理を適正に行うための助言をしていただくとか、林業そのものの振興をどう図っていただくか、そういうことを決めていただくように、そういう団体を育成するという目的でございます。

あと、2番目の森林整備担い手育成基金事業助成金ということでの御質問ですが、森林の整備及び担い手の育成を図る目的で、森林組合が実施する社会保険制度を適用促進事業ということで、退職金の共済制度とか適用促進事業等に対する助成ということで、福利厚生対策事業で一部助成をしております。その中身で、これは基金からの助成もございまして、基金から13万2,300円、市町負担も同じく13万2,300円ということで、合わせて26万約5,000円にこの部分を支出をしております。なお、助成金の割合が7%ということになっております。

あと、こちらのほうに担い手は何人おられるかというのが今のところ数字を把握しておりませんので、後ほど回答をさせていただきます。

以上です。

○溝上良夫議員

地下水に関しては実際の被害はまだないと、苦情もないということで。ただ、地下

水を何十年くみ上げてきて、地下水が元の状態に戻るのも何十年かかかるという話も聞きます。そういった場合、昔でいうと畑を掘ったら水が出てきたという時代もそう遠くない時期に来るんじゃないかなという心配もしております。そういう面ではこの調査、もちろん突っ込んだ調査も必要でしょうけども、見守っていつてもらいたいと思います。そういう面での再度の答弁と。

森林組合に関しては、近年森林の荒廃が懸念されております。そういう面でも森林に対する考え方、もう少し力を入れなきゃいけないんじゃないかなというように思いますけども、そこら辺の答弁、町長を含めてお願いをいたします。

○大串靖弘農村整備課長

地下水の検討ということで、調査ということでございますけれども、先ほども申し上げましたけども、まだデータ量が圧倒的に少ない状況でございますので、これからも継続しながら調査を続けていきたいというふうに考えております。

以上です。

○喜多忠則農村整備専門監

先ほどの杵島山山系の森林の状況が荒廃している、何とか手を打たなきゃいかんんじゃないかという御指摘のとおりでございます。杉やヒノキについては、今50年、60年を経過しておる木がたくさんあると聞いておりますし、現地でもそういうことで、我々も行った先にはそういう荒廃森林が見受けられますが、最低限の整備ということで、この森林組合の方々に一応伐開とか、そういった作業はさせていただいております。ただ、そういうことで、これをものによってお金になすというのは非常に今のところ厳しいところがございます、なるだけその木を長寿命化、これもちょっと寿命を延ばして、そして製品になるようなことも考えられないかとかということで、太良町あたりでもいろいろされております。その辺を聞きながら、白石町の山林の整備については検討していかなければならないと考えております。

以上です。

○白武 悟議長

暫時休憩します。

11時59分 休憩

13時15分 再開

○白武 悟議長

会議を再開します。

○西山里美産業課課長補佐

先ほど予算説明資料の60ページの佐賀園芸農業者の育成対策事業の28年度事業の27年度への前倒し分ということで、大串議員さんのほうからお尋ねをされておりました分のお答えをいたしたいと思っております。

28件の事業が28年度から27年度へ前倒しとなっております。

○喜多忠則農村整備専門監

先ほど溝上議員のほうからの答弁で保留しておりました森林整備担い手育成基金事業助成金の方の数という御質問で、一応11名の方ということになっております。そのうち町内の方は3名、ただし林業をなりわいとしてじゃなくして、林業に何らか携わっている方ということになっております。

以上です。

○白武 悟議長

ページ数121ページの農地費から134ページの漁港整備事業費の公課費まで質疑ありませんか。

○久原房義議員

131ページになります、予算書です。

ここで町有林の下刈り等委託料307万4,000円でありますとか、ほかにもありますけれども、町有林というのは恐らく費用だけが発生して、恐らく歳入というのはほとんどないんじゃないかなというふうに思っておりますが、この町有林というのを売却するようなことは考えられないものかどうか、その辺はいかがでしょうか。

○喜多忠則農村整備専門監

町有林の売却についての御質問でございます。

今白石町内で町有林の面積で把握しておりますのが174ヘクタールほど面積的にはございます。白石地区では134、有明地区では40ヘクタールと。うち、生活環境保全林というのが60ヘクタールございまして、この部分については手がつけられません。ただ、あと残りの部分については、売却というような話ではなかなか今のところは御回答ができないということで。

まずもって今森林を伐開して、そして伐開すれば基本的にはまた植え直しをしなければいけないというのが普通であります。それを何かそういうことで有効利用ということでのお話したと思っておりますが、なかなか非常に難しいと思っております。

以上です。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○片渕栄二郎議員

説明資料の80ページ、81ページ、82ページについてお尋ねをさせていただきたいと思っております。

それぞれの事業内容がちょっと私こんがらがって、わからないところもございまして、この80ページ、81ページ、82ページに関して事業内容等を教えていただければと思っておりますが。

○大串靖弘農村整備課長

多面的機能交付金事業でございますけれども、80ページの分につきましては、先ほど創設されました新しいものでございまして、共同作業と似たような事業メニューとなっております。この分につきましては、農業者を含まない分でもオーケーということで、農地維持支払事業でございます。

ほかの2つにつきましては、共同事業でございますけれども、共同事業につきましては、農家以外の一般の方まで含めての多面的事業の共同作業ということでございませぬ、簡単に言いますと。多面的事業の長寿命化でございますけれども、これは簡単に言いますと業者に委託できるというような事業でございます。

以上です。

○片渕栄二郎議員

この事業に関して、非常に各地域においては恩恵を受けておるところでございます。小水路等の整備等も各地で行われておりますけれども、時期に関して、あとどれぐらいの年月でこの事業がずっと続いていくものか、その辺をお尋ねをいたしたいと思っております。

○大串靖弘農村整備課長

この分につきましては、政府において法整備化されておりますので、半永久的に行われる事業だというふうに認識をいたしているところでございます。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○大串弘昭議員

説明資料では76ページですか、水利施設のストックマネジメントの事業でございます。

一応ここでは工事費等4,300万円上がっておりますが、この辺のところの場所、位置、どこを想定をされているのか。それと、こういった制水門あたりにつきましては、どこでも傷みがきたり修繕を要するところが数多くあるわけですが、その辺のところの劣化をしている度合いと申しますか修繕ができる基準と申しますか、そういったところをお尋ねします。

○大串靖弘農村整備課長

地域ストックマネジメント事業で行っている事業の場所ということでございませぬけれども、一応この分につきましては、町内一円の31カ所を予定いたしております、場所はばらばらでございます。

基準と言われますけど、全部一応現地を回って確認をしております。優先順位をつけてございまして、それに従いまして順次行っているということでございませぬ。

○大串弘昭議員

今緊急を要するというか、その辺のところは31カ所ということですね。この地沈水路にかかっている制水門は、大なり小なりどこでも開閉が難しくなっているというようなところはうちのあたりでも何カ所もあるわけです。そのたびにギアオイルを買ってきたりグリースも買わせたりという軽微なところは私どもやっておりますけども、なかなか開閉がうまくいかんというようなところ多々見受けられるわけですが、それを農地水で何とかという話があつとるわけで、私もその辺については日々やっているわけですが、なかなか手に負えないところがあるわけです。ちょっとした軽微なところですね、こういったところにも目を配っていただきたいなというような思いでございます。

○大串靖弘農村整備課長

軽微なところまでということでございますけど、一応使っていただいているところでふぐあいが生じた場合に、相談をいただければ手を入れられるということであればこちらのほうでもいたしたいと思っておりますけども、簡単にできるようなことにつきましては、地元で何とかお願いできればなということで。今こういった事業を、うちのほうで大きい方の事業をいたしております。ただ、開閉機あたりがどうしてもいかんということであれば、緊急にでも分解整備をしているところもございしますので、御相談をいただければというふうに思います。

以上です。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑がないようですので、次にページ数135ページの商工振興費から138ページの観光費の負担金補助及び交付金まで質疑ありませんか。

○西山清則議員

予算書の138の歌垣公園給水装置取替工事費ですけども、これはどの辺になつてゐるのか。それと、その下のほうです。よかところ佐賀駅キャンペーン負担金、これの説明と、あとまちおこし事業費補助金。これ説明資料の70ページに載っておりますけども、歌垣春祭り。ツツジが長く咲くので、1日雨が降ったらいつも中止になりますけども、これを予備日をつくるとなかなか難しいと思っておりますけども、1日で終わるのがもったいないなと思って。予備日を持つのはなかなか難しいと思っておりますけども、春祭りに関してそういった手当てはできないのかを伺いたいと思っております。

○矢川又弘 6次産業専門監

今3点お尋ねをいただきましたけども、まず1点目のページ数138ページの歌垣公園給水装置取替工事費の件でありますけども、議会でもお話をさせていただきました

けども、どうしても歌垣の研修センターロッジが水が原因で宿泊ができないということをお話をさせていただきました。そのためにいろんな解決策があるかと思っております。今回の場合給水装置、ちょうど県道から入りましたところにタンクがありますので、そこからタンクに集めました水を滅菌器を使いまして浄化して、それから圧送するという装置を取りつけたいと思っております。研修センターロッジまで運びたいということで、これは中身的には私たちも水の専門家を呼んで、もう一度これが本当に大丈夫なものかということをお話をお願いしてから詳しく検討をしているために、今回この予算を計上させていただきます。

2点目のよかところ旅キャンペーンというところでもありますけども、この事業が平成16年度から県が音頭をとられまして、とにかく佐賀に泊まって食べていただくという事業を展開されております。16年の当時でありますけども、このときはまだ合併前でしたけども、そのときは旧白石が15万2,000円、福富が7万9,000円、有明が11万7,000円ということで、その割合につきましては、標準財政規模割と観光客の割で算出をされておまして、合併してからその金額、旧3市町の合計でされておりましたけども、毎年少しずつ見直しをされておまして、現在14万3,000円になっているというところでもあります。

3点目のまちおこし事業で620万円、これ3祭りの運営費が主な事業となりますけども、まちおこし運営委員会におきまして3祭りの統合はどうかというお話も提案をさせていただきました。今のところはまだ10年、やっと定着してきたということで、もう少し続けさせていただけないかというお話をまちおこし運営実行委員会の中でいただいておりますので、これは毎年お話をさせていただきたいと思っております。

ただ、歌垣のほうは、あそこであの時期にするから価値があるんじゃないだろうかということですので、あとの二つにつきまして、合併を前提としてもいいんじゃないかという委員さんも一部いらっしゃいました。この件につきましては、また続けて議論をしていきたいと思っております。

それで、春祭り、雨天の場合2年連続中止をいたしております。今年度はぜひやりたいと思っておりますけども、雨天になった場合予備日をとということでありますけども、なかなか協力をいただきます地元の方とかボランティアの方とかの日程調整が難しいこともありますので、予備日の対応は少し難しいかなと思っております。しかしながら、今回1つは138ページにあります信号機のリースですね、これ歌垣の繁忙期に使わせていただくものと、それから137ページになります。委託料の中ほどでありますけども、歌垣公園交通整理警備委託料というのがあります。これにつきましては、1日だけではなくて1週間程度その期間があるのではないだろうかということで、交通の整理員へ警備をお願いしまして、その時期1週間程度できないものかということをお話をいただいております。

それと、今まではその1日だけでテントをしまっていましたけども、あそここのところにお店の方とかもお願いしまして出店していただくようにして、休憩をする場所を設置したいと思っております。

以上であります。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○久原久男議員

予算書136ページの商工団体振興補助金、この件についてお聞きをいたします。

この2,288万7,000円というのが去年からでしたかね、二、三年前までは2,100万円幾らで、多分150万円ぐらいの増額になっているというふうに思います。それが商工会としては配慮をいただいたというふうな受けとめ方をしているわけですが、これがどういうあれで増額になったのか。それから、これが今半永久的というふうな話がございました。半永久的に続くもんか、この件について2点お願いします。

○矢川又弘 6次産業専門監

今久原議員からの2点のお尋ねでありますけども、今お話しいただきましたように、昨年からの2,288万7,000円になっております。商工会さんの事業につきましては、登録されてる方が588人だと記憶いたしております。この588人に対しまして近隣の市町を見ましたところ、平均よりも少し高うございますけども、そんなに飛び抜けて高くはないということ調査をいたしましたけども、この補助金につきましては、3本立てで積算をいたしております。

1つが事務局長が1人、経営指導の方が3人、支援員の方が5名さんいらっしゃいます。その方たちが経営改善普及指導というのを行っていただいております。その分の事業費が補助率の2分の1以内と、それと管理。例えば商工業さんの方の研修会、講習会等々の指導を行っていただくという管理事業等で2分の1以内と、それと商店街の活性化なり出店等のイベントがありますけども、その地域総合振興事業等ということで行っていただいておりますので、それを補助率4分の3以内としております。このことから、昨年と同額にはなりましたが、積算をいたしております。

今後半永久的に続くかということでもありますけども、特に商工会さんのほうにもお話はさせていただきましたけども、地域の活性化、3番目の地域総合振興事業等につきましては、事業を精査させていただきたいということで、その事業がもしどうしても来年度行いたいということであれば、事前に協議をしてくださいということで、この額が変動すると思っておりますので、この金額が固定するという考えは持ち合わせておりません。

以上であります。

○久原久男議員

永久的につくということはないわけですが、できるだけ組織率にしても県下でナンバーワンとか、いろんな商工会のメンバーの方も頑張って活動をされております。できるだけ配慮をいただきたいと、そういうふうに思うわけです。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○大串武次議員

予算書の137ページの一番下の使用料及び賃借料で土地の借上料、これどこなのか。それから、道路清掃車両借り上げ、これどこをされるのか。それと、仮設トイレ、どこに設置が計画なされているのかお伺いいたします。

○矢川又弘 6次産業専門監

ページ137ページの下段の使用料及び賃借料のところでございます。土地借上料9万円と書いております。これPRの看板を設置させていただいております。近くでは警察署の少し南側のところの東側です。444沿いの干拓入り口の少し手前のほうの水路になります。もう一つが百貫橋のところのちょうど橋のたもとのところにあります。それと、福泉寺に入る手前の県道のところの4カ所の借上料となっております。具体的な金額につきましては、個人さんのほうになりますので控えさせていただきます。

道路清掃特殊車両借上料でありますけれども、これは間もなく水堂さんの出水法要が始まりますけれども、昨年度までは水林会というところをお願いをしておりましたけれども、実質のところ水堂の出水法要の場所の近辺はお願いをしておりましたけれども、その下の県道まで通じるところなんですけど、あそこにも落ち葉がかなり落ちておまして、車がスリップをしてしまうというお話をお聞きしましたものですから、それはどうかしなくちゃいけないだろうということで、ちょうど出水法要の場所から少しおりたところに桜の木がありますけれども、あそこから県道までおりるところは特殊作業車両をお借りして、枯れ葉を除去してもらおうという予定をいたしております。

仮設トイレでありますけれども、これは出水法要の期間中の仮設トイレであります。以上であります。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○岩永英毅議員

137ページ、桜の里清掃委託料23万8,000円、これはいつの時期にされるのか。それから、今週の日曜日にぼんぼりを立てましたけれども、ほとんど白石側からはぼんぼりの明かりが見えないぐらいになってます。あそこは素人ではちょっと無理なところでございますので、森林組合かなんかでもう少し見晴らしのきくようにできんかな。

ぼんぼりを立て始めたころは、白石側からはきれいに花も1列に並んどったわけですが、もう今は途切れ途切れ。鹿島のほうからがよほど眺めがいいという格好になってますので、何とか対応できないか。草刈りはこの前ぼんぼり立てて若干してしますので、そう大したことないかなと思います。この予算を一部流用してでももう少し白石側から見れるようにできないか、御検討願いたいと思います。

○矢川又弘 6次産業専門監

ページ137ページの桜の里清掃委託料23万8,000円でありますけれども、業務の委託内

容としましては、便所の清掃を5月、7月、9月、11月、1月、2月は各1回、3月、4月は各2回ということと。それから、ちりがどうしてもたまりますので、あわせてごみ収集を行っていただいております。その分の23万8,000円であります。

それから、2点目の旧有明地域からの展望がちょっと望めなくなったということでもありますけども、この木の伐採につきましては、所有者の方がいらっしゃいますものですから、その所有者の方ともお話をさせていただいてからお話を進めさせていただきたいと思っておりますので、その点につきましては、しばらくお時間をいただきたいと思います。

以上であります。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑がないようですので、次にページ数139ページの土木総務費から147ページ港湾管理費まで質疑ありませんか。

○岩永英毅議員

説明資料の88ページから89ページ、90ページ、道路に関するの予算であります、一般質問のとき建設課長は、ずっと順番でやってるよという話でございました。町道の百貫竜王線、あそこが3分の1ばかりしてあとはほったらかしという感じですけども。4車線になって減るかなと思っておりましたけれども、依然として減りません。場所のわからんでおうろ。

○白武 悟議長

87ページですか。

○岩永英毅議員

うん、それに関して。

○白武 悟議長

87ページ。82ページと、こう聞こえたもんですから。

○岩永英毅議員

いや、87から89、道路新設改良89ページまでね、説明資料の。その中に今入っとらんけんが、順番にするという答えの中でこの中に載っとらんけん聞きよっと。一般質問で順番でしていくよと言うとって、あの線は途中までしかしとらんけんが、完成しとらじなし載っとらんかなという、質問の意味がわからんでおるけんが。

○白武 悟議長

暫時休憩します。

13時47分 休憩

13時50分 再開

○白武 悟議長

会議を再開します。

○荒木安雄建設課長

済みません、場所がよくわからなくて。

今言われました百貫竜王線につきましては、去年の11月ごろでしたか、深浦の駐在員さんから御要望がございました。それで、私も現地見に行きましたけれども、樋口さんのハウスの付近は、道路は拡幅されて広がってございましたけれども、それから東の区間は議員おっしゃいますようにちょっと狭く感じます。それで、今言われたように、通学で結構な交通量はあっているとは感じております。それで、この整備の中には入れておりませんが、道路ストックでいくのか拡幅改良が必要なのか、そこら辺は地元の方と打ち合わせをしながら今後検討させていただきたいと思います。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑がないようですので、次にページ数147ページの都市計画総務費から151ページ砂防費まで及び186ページの農業用施設災害復旧費まで質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑がないようですので、これで議案第29号の産業建設部門の質疑を終了します。

日程第7

○白武 悟議長

日程第7、議案第32号「平成28年度白石町農業集落排水特別会計予算」を議題とします。

質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。

討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。

これより議案第32号「平成28年度白石町農業集落排水特別会計予算」について採決をします。

本案に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第32号は原案のとおり可決されました。

日程第8

○白武 悟議長

日程第8、議案第33号「平成28年度白石町特定環境保全公共下水道特別会計予算」を議題とします。

質疑ありませんか。

○岩永英毅議員

全般で。

今大体2次計画期間中であろうと思いますが、3期計画まで多分計画があって、今3期計画で百貫橋周辺までの計画であったと思いますがけれども、これの効果。それから、全般的な計画変更はできないのか。

今でも先ほど全部個人の処理、それから特環、集落排水全部含めても普及率が42%と。百貫までいってもその道筋はそんなに影響はないと思いますし、廻里津までだったら牛屋の集落排水との境までの普及は考えられますけれども。多額の町の費用をするよりも、個別の排水をつけたほうがよほど費用対効果が出るんじゃないかと。個人の費用負担はふえるけれども、1次の助成金を出していけばもっと普及していくんじゃないかというふうに思いますが、その辺全般的に考えてこれ計画変更できないのか。町長なり副町長どうでしょう、計画変更は考えられませんか。

○堤 正久下水道課長

公共下水道の27年から32年までの計画の次の計画の話だというふうに思っております。この特定地区の特環の事業計画をつくる際には議会のほうでも特別委員会等設けて、下水道のこの計画についてたくさんの議論をいただいていることと承知をいたしております。今のところ次の計画までいくということ考えておるところではございますが、平成30年度をめどに人口3万以上の自治体においては公営企業の適用を受けていくというようなことが義務化されております。我が白石町におきましては、人口約2万ちょっとですけれども、その義務化の対象にはなっておりませんが、公営企業等の適用を受けながらその実態と状況等を皆さんに見える化を行った上で、再度議論が必要ではないかなというふうに思っております。

議員おっしゃるように、大変下水道については、全国的にも金食い虫とかいろいろ言われているような状況でございます。3期については、今後議論をしていく必要があるかというふうに思っているところでございます。

以上でございます。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これで質疑を終わります。

討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

討論なしと認めます。

これより議案第33号「平成28年度白石町特定環境保全公共下水道特別会計予算」について採決をします。

本案に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立全員です。よって、議案第33号は原案のとおり可決されました。

日程第9

○白武 悟議長

日程第9、議案第34号「平成28年度白石町水道事業会計予算」を議題とします。
質疑ありませんか。

○秀島和善議員

ページ数が1ページです。給水戸数として6,780戸ということになってますけれども、合併してこの10年、この給水戸数はどういう推移をたどっているのでしょうか。

○山口弘法水道課長

給水戸数につきましては、資料を持ってきているつもりなんですけど、あともってお答えさせていただきます。

○白武 悟議長

暫時休憩します。

14時02分 休憩

14時04分 再開

○白武 悟議長

会議を再開します。

○山口弘法水道課長

先ほど秀島議員さんの質問の中で、給水戸数というふうなことで御質問ございましたけれども、ちょっと給水戸数につきましては持ち合わせ資料がございませんでしたので、給水人口でお答えをさせていただきたいと思えます。御了承お願いいたします。

合併当時の給水人口が2万2,484人、18年度で2万2,228人、19年度が2万1,837人、20年度2万1,658人、21年度2万1,436人、22年度2万1,160人、23年度につきましては2万800人、24年度2万575人、25年度2万259人、26年度が1万9,924人と。27年度につきましては、まだ現在確定をしてないという状況ですけれども、26年度よりも若干少なくなるかなというふうに思っております。

以上でございます。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○川崎一平議員

秀島議員に関連です。1 ページ、給水戸数が6,780戸ということで、今白石町内に給水をされていないうちの数はわかりますか。

○山口弘法水道課長

町内で水道管がきてないという施設が全体で25戸ございます。
以上でございます。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

○川崎一平議員

これは民家でということ考えてよろしいでしょうか。

○山口弘法水道課長

そうですね、各家というふうなことで御理解していただければ結構だと思います。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）
これで質疑を終わります。
討論ありませんか。

○秀島和善議員

私は、議案第34号「平成28年度白石町水道事業会計予算」に反対の立場で討論をいたします。

町民にとっては、水は1日も欠かせない大事な事業です。あわせて本町の水道料金が高いと考える町民も多くいます。水を取り巻く情勢は極めて深刻です。地球規模での環境問題は、有限の水を100%の節水と利水と治水に全力を挙げることが全ての自治体に現在求められています。

近年企業努力による節水型家電製品の開発や町民への啓蒙活動による水を大切に使うこと、また世帯や給水人口の減少によって給水そのものが減少しています。多くの町民からすれば、払いたくても払えない高い水道料金という意見は多くあります。では、どうしたら引き下げられるかといいますと、高い水道料金を引き下げる方法は以下4点提案し、ぜひ町長にはその先頭に立っていただきたいと考えています。

1つに、責任水量の見直しを本気になってすべきであります。責任水量の約60%しか使っていません。あとの40%は、使われない水に対して町民の血税を支払っているというのが実態です。

2つ目に、佐賀西部水道企業団や自治体の経営努力がまだまだ不足していると思います。

3つ目に、有収率を一日も早く90%以上に引き上げることが大切です。

第4として、最後に一般会計からの繰り入れも増額していくことが必要ではないでしょうか。

以上、4点にわたっての努力を田島町長を先頭に具体的な行動を起こして、高い水道料金の引き下げを実現して、町民の生活防衛の運営に全力を挙げていただくことを要望し、反対討論とさせていただきます。

○白武 悟議長

ほかに討論ありませんか。

○大串武次議員

私は、議案第34号「平成28年度白石町水道事業会計予算」について賛成の討論をいたします。

平成28年度水道事業概要を見ておりますと、水道事業収益5億8,224万2,000円、水道費用5億9,547万8,000円、資本的収入2,321万3,000円、資本的支出1億3,843万2,000円となっており、給水収益は前年度対比844万2,000円の減額。他会計繰入金は前年度対比829万7,000円の増となっております。平成28年度からは受水費の見直しが図られ、基本料金66円1立方メートルから62円と4円安くなっております。このことは全体的に前年度と比較して1,777万9,000円安くなっております。

また、管路の老朽化の現状は、資本的支出を年間約1億円を投資することで、管路の経年率は類似団体の平均値より低く、管路の更新率は高い数値であります。老朽化は進んでいない状況にありますが、今後とも管路の更新は積極的に進めていただきたいをお願いをするところであります。

このことから、本年度は道路網整備事業として、老朽管布設替え工事として、17路線で施工延長3,400メートルを計上されております。これは事業費の削減、節約のために、主に県道、町道の公共工事とあわせて事業計画をなされていることは、水道事業の予算はもとより、町の財政面からも大変有意義な事業であると大いに称賛の意をあらわすものであります。

また、本町では、今年1月には空前の大寒波に見舞われ、管路の凍結、寒割れが数多く見受けられました。県内では、大半の市町において断水を強いられましたが、本町では断水を回避することができました。これには幾つかの要因が考えられますが、まずもって町長を初め、町職員が一丸となって町民の命である飲料水の確保のため最大限の努力を払われた結果だと思っております。この努力に対し改めて感謝をいたすところであります。

最後に、今後とも町民が安全で安心できる水道水の供給のため、なお一層職務に精励され、町民の負託に応えていただくことをお願いして、賛成討論といたします。よろしく申し上げます。

○白武 悟議長

ほかに討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

これで討論を終わります。

これより議案第34号「平成28年度白石町水道事業会計予算」について採決をします。

本案に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

起立多数です。よって、議案第34号は原案のとおり可決されました。

以上で本日の議事日程は終了しました。

本日はこれにて散会いたします。

14時14分 散会

上記、会議の経過を記載し、その相違ないことを証するため、地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

平成28年3月16日

白石町議会議長 白 武 悟

署 名 議 員 片 渕 彰

署 名 議 員 草 場 祥 則

事 務 局 長 吉 岡 正 博